

食の多様性を学ぶセミナー第**2**弾 専門家による助言会

- 様々な国や宗教の方々が一つのテーブルを囲んで食事を楽しめる「ワンテーブル」-



申込締切
11月17日(水)
参加無料
5事業者

鹿児島市では、鹿児島の強みである「食」の魅力を生かしたインバウンド向けの取組として、食の多様性に係る専門家が各事業者を訪問し、課題や今後の方向性について意見交換等行う助言会を開催いたします。

専門家

フードダイバーシティ株式会社 代表取締役 守護 彰浩 (しゅご あきひろ) 氏

2014年1月より6カ国語で日本国内のハラール情報を発信するポータルサイトHALAL MEDIA JAPAN運営。2018年4月からベジタリアン事業にも注力し、中国語でのベジタリアン情報サイト「日本素食餐廳攻略」をスタート。2020年には総理大臣官邸で開催された観光戦略実行推進会議にて、菅総理大臣に食分野における政策を直接提言した。フードダイバーシティをコンセプトにハラール、ベジタリアン、ヴィーガンコーシャなど、あらゆる食の禁忌のコンサルティングを提供中。



令和3年12月13日(月) - 12月14日(火) 10:00-17:00のうち
1~2時間を目安に専門家が各事業者を訪問し、意見交換・助言を行います

[プログラム例]

- **ムスリム・ベジタリアン対応の考え方や方向性等に関する意見交換/助言**
- **具体的な仕入れや調理、オペレーション等に関する意見交換/助言 等**

日時・内容

- ☑ 食の多様性とは ~ハラール・ベジタリアンなどの定義~
- ☑ 国内外の食の多様性の現状 ~コロナ禍での意識変化~
- ☑ 食対応することのメリットとは？ 今できること・正しい情報発信とは？

- ※ 食の多様性を学ぶセミナー第1弾(10/11)を踏まえ、事前に各参加事業者において、課題等に関するシートを作成頂き、その内容を踏まえながら開催する予定です。(シートは参加決定後にご案内します。)
- ※ 申込書に記載頂きました希望日時を元に調整します。助言会当日は、本市職員が同行します。
- ※ 各事業者において、助言会を行う会場をご準備ください。(確保が難しい場合はご相談ください。)

対象

鹿児島市内の飲食店、宿泊施設等

食の多様性への対応がビジネスチャンスにつながる3つの理由

[出所]観光庁HP等

高いニーズ	市場ボリュームあり	リピーターは身近なところに
外国人観光客が訪日前に期待していたこと 1位 日本食を食べること	訪日外国人観光客のうち、 ムスリム：約11% ベジタリアン：約5% ※台湾の約14%は台湾素食	健康志向の高い地元客 …コロナ禍で日本人の「ゆるベジ」が拡大 ムスリムやベジタリアンなどの在住外国人



皆でベジ対応の
お店に行こう！



グループに、1人でもベジタリアンやムスリムがいたら、その1人に合わせてお店を選ぶ傾向があります！

※ 新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、開催方法がオンライン開催など変更になる可能性があります。予めご了承ください。
※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスクの着用をお願いします。

メール又はFAXにて、11月17日（水）までにお申し込みください。決定次第連絡いたします。（11月中予定）

お申し込み

■基本情報

事業所名		
住所		
参加予定人数	名の予定	
参加予定部署	(企画部署、調理部署 等)	
ご担当者	氏名	
	メール	
	電話	

■希望日時

・ご希望の時間帯に「○」を複数個所ご記載ください。

12月13日（月）	ご希望	12月14日（火）	ご希望
10:00-11:00		10:00-11:00	
11:00-12:00		11:00-12:00	
13:00-14:00		13:00-14:00	
14:00-15:00		14:00-15:00	
15:00-16:00		15:00-16:00	
16:00-17:00		16:00-17:00	

■助言希望の内容等

・現時点でご記載頂ける範囲で結構です。調整の参考にさせていただきます。

(例：特に○○○や○○○について2時間の助言を希望)

お問い合わせ/お申込み

鹿児島市観光プロモーション課 電話：099-216-1510 FAX：099-216-1320

MAIL：kan-senryaku@city.kagoshima.lg.jp

URL：<https://www.kagoshima-yokanavi.jp/news/149>

申込書データの
ダウンロードは
コチラ→

